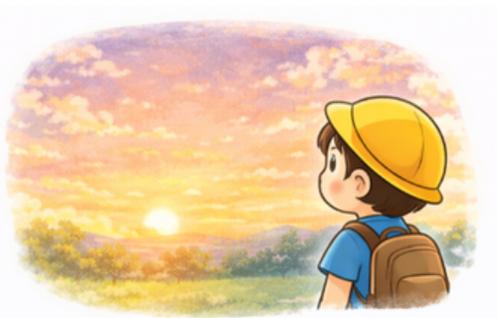


1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

あさの空を見ると、
たいようがのぼり、
まわりがあかるくなります。
たいようは、
ちきゅうをあたため、
人やどうぶつ、
しよくぶつに
ひつような
ひかりをくれます。
ひるになると、
たいようはたかくのぼり、
かげはみじかくなります。
ゆうがたになると、
たいようは しずみ、
空のいろが
かわります。
このくりかえしで、
いちにちの
じかんが
すすんで
いくのです。



(1) 文にある——の ことばの ようすを
あらわしたいちばんちかいいみのこと
ばはどれですか。 たいしいものを○で
かこみましょう。

- ① ぼかぼか
- ② びゅうびゅう
- ③ きらきら
- ④ ぎぎぎ

(2) たいようがしずむと、よるになるの
はなぜですか。 もっともたいしい
ばんごうを○でかこみましょう。

- ① たいようがちきゅうをあたため
る力がなくなるから
- ② たいようがしずみ、まわりがあ
かるくなくなるから
- ③ たいようがたかくのぼり、かげ
がみじかくなるから

(3) たいようがじめんや水をあたためるこ
とで、どのようなへんかがおこるか、
文のないようをもとにかきましょう。

